

平成22年度一般会計当初予算説明資料

8 款 土木費

6 項 住宅費

住宅政策課（内線：7398）

2 目 住宅建設費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取エコハウス推進事業	3,613	708	2,905	1,625			1,988	
トータルコスト	6,840千円（前年度 4,862千円）〔正職員：0.4人〕							
主な業務内容	研究会、講習会開催事務、広報・普及活動事務							
工程表の政策目標（指標）	平成27年度におけるCASBEEを利用した新築の戸建木造住宅の着工割合5%を目指す							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

建築環境総合性能評価システム（通称CASBEE）を活用して、地元工務店の環境対策への取組みを促進するとともに、鳥取県の気候・風土等にマッチした鳥取県型環境配慮住宅（鳥取エコハウス）を開発し、地球温暖化対策の推進、及び県内住宅産業の活性化を図る。

2 主な事業内容

環境配慮型住宅の普及促進を図るため、住宅の供給者の育成や体制整備に向けて、CASBEE戸建評価員養成講習会や鳥取エコハウス研究プロジェクトを開催するとともに、環境性能に関する住宅関連事業者の自主的な取組みを支援する。

項 目	予算額	内 容
CASBEE戸建評価員養成講習会の開催	500千円	戸建住宅の環境性能を評価する技術者を養成するための講習会を開催 ・受講対象：一級、二級建築士、木造建築士（100名） ・講習内容：CASBEE評価システムの利用方法等 ・開催回数：1回
鳥取エコハウス研究プロジェクトの開催	1,813千円	鳥取型の環境配慮住宅（鳥取エコハウス）を開発するため、建築設計者、工務店、木材供給者等による研究プロジェクトにおいて基本方針を検討・策定するとともに、県産スギ材の強度性能を明らかにするための試験を実施 （研究会：4回、県産スギ材の強度性能試験実施）
環境配慮住宅セミナーの開催	1,300千円	自立循環型住宅設計や省エネ対策、ウッドマイレージ等、住宅関連事業者の環境配慮住宅設計・建築に係る専門知識習得のためのセミナーを、民間団体に委託して実施 ・受講対象：設計事務所、工務店等 ・委託先：県内の設計事務所、工務店等で組織された法人格を有する民間団体（プロポーザルにより委託先を選定） ・開催回数：6回
計	3,613千円	

3 これまでの取組状況、改善点

- 平成21年度に、木材関係事業者、設計関係事業者、工務店等を構成員とする鳥取エコハウス研究プロジェクトを組織し、県産材を有効に活用した鳥取エコハウスの構造、仕様、デザイン等についての検討を開始（研究会4回開催）  
平成22年度もこの検討を継続し、事業化や供給体制等の検討も加えながら、鳥取エコハウス基本方針を策定
- 平成21年9月にCASBEE戸建評価員養成講習会を開催したところ、県内の建築士82名が受講より多くの建築士にCASBEE戸建の評価技術を習得していただくため、平成22年度も継続して開催